

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム ユニティー旭神		
所在地	北海道旭川市旭神2条4丁目10番4号 (電話) 0166-66-1294		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年11月11日	評価確定日	平成20年11月26日

【情報提供票より】(平成20年10月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年1月25日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	14人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての 2~3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	15,000~20,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要(10月30日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	1名	要介護2	8名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 81歳	最低	68歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック・旭川南病院・やわらぎ泌尿器科
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い敷地には、職員や来訪者の十分な駐車場も用意された鉄筋コンクリート造りの2階、3階部分のグループホームで1階部分には近隣住民が通うデイサービスセンターが併設され交流が行われています。管理者、職員の関係もコミュニケーションが良くとられ良好で、本人がその人らしく自由に暮らせることへの支援や家族の希望や要望を叶えられるように協力しながら取り組んでいる姿が伺えました。また、本人の思いや暮らし方の希望を大切にしてお寿司や天ぷらなどの出張サービスの利用で嗜好への取り組みや椅子の配置、テレビの音量などの意見を聞いたり、散歩や買物、ドライブなど気晴らしの支援も行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議について改善点が見出されていましたが、概ね二ヶ月に一度開催され外部評価の意義についての質疑応答やホーム主催の行事の助言、今後計画されているパークゴルフへの協力体制など活発な意見交換が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、日常業務の見直しの機会として利用されて、改善すべき点の振り返りとして取り組まれています。また、外部評価の意義や結果については、運営推進会議で具体的に報告されて意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在3回実施され、その議題は地域行事参加とホーム主催行事の報告と御礼について紅葉見物や避難訓練など今後の予定について外部評価の意義について事業所の職員の人員配置について入居状況と介護度について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 来訪される家族も多く、本人、家族の希望や要望を叶えられるような取り組みや健康管理や日常生活の様子など意見交換されています。また、家族会や運営推進会議で家族の意見や不安な点への話し合いも行われ運営に反映される取り組みも行われています。玄関入り口の見やすい場所に意見箱を設置して、苦情など言い表せる機会も作られています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣住民が利用している併設のデイサービスでの地域住民との交流や敬老会や盆踊りなど町内会行事への参加、清掃作業や古紙回収等の参加を通じて交流・連携が実践されています。また、幼稚園児との交流や実践者研修・実習生、ボランティアの受け入れなどホーム機能を地域に還元する取り組みも行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、法人全体の経営理念、福祉三原則、職員一人ひとりの目標をつくりあげている。		特筆すべき点として、職員一人ひとりの達成すべき目標が明示され、その達成度が評価されている。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の達成のための個々の職員の目標を明確にして、その実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設のデイサービスでの地域住民との交流や敬老会や盆踊りなど町内会行事への参加、清掃作業や古紙回収等の参加を通じて交流・連携が実践されている。また、幼稚園児との交流や実践者研修・実習生、ボランティアの受け入れなどホーム機能を地域に還元する取り組みも行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、日常業務の見直しの機会として利用されて、改善すべき点の振り返りとして取り組まれている。また、外部評価の意義や結果については、運営推進会議で具体的に報告されて意見交換され議事録も備えられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、本年度 評価日現在3回開催されている。委員は、家族、町内会長、商業施設役員、民生委員、他事業所の介護支援専門員、施設長及び管理者・職員で構成されてホーム主催の行事の報告や取り組みについて具体的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日常業務を通じて、市担当者や地域包括支援センターと相談や助言を得るなど連携に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など毎月「グループホームユニティー旭神通信」を発行して、情報提供している。また、健康状態や状態変化については、個々にお手紙で報告したり、都度電話連絡などで報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>本人、家族の希望や要望を叶えられるような話し合いや健康状態など意見交換されています。また、家族会や運営推進会議で意見や不安な点への話し合い、意見箱を設置して苦情など言い表せる機会も作られ、運営に反映される取り組みが行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。また、毎月発行している便りで職員の紹介記事を掲載したり、全ての職員の写真を見やすい場所に掲示するなど配慮しています。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で接遇に関するマナー研修や新人職員研修が行われOJTも充実しています。また、他施設での研修参加や身体拘束ゼロ研修会参加など外部研修参加もフォローされ職員を育てる取り組みを進めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業他施設の行事参加や合同企画で救急救命訓練の実施など交流が行われています。また、管理者は他施設の訪問や情報交換も行っています。		今後は、職員の他グループホームとの相互訪問や交流する機会を作るなど検討されることを期待します。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には自宅訪問や利用者・家族の見学などで場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の思いや暮らし方の希望を大切にして、職員と一緒に食事の準備をしたり食材の買物に出かけている。また、お寿司や天ぷらなどの出張サービスの利用で嗜好への取り組みや椅子の配置、テレビの音量などの意見を聞くなど支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握して、近隣への散歩や食材などの買い物、洗濯物干しやたたみ、美瑛や秩父別へのドライブなど本人本位に支援している。また、センター方式を活用して生活歴が把握されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	認知症ケアに有効とされるセンター方式で一人ひとりの生活歴や趣味・嗜好などが把握され、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書は定期的に評価が実施され見直しが行われている。また、状態変化など期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、時々々の要望に応じて、通院の支援や馴染みの理美容院への送迎、併設されているデイサービスの利用など柔軟に支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	月2回の協力医療機関の医師の往診や歯科医師、訪問看護師との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、一人ひとりの定期的な医療機関への通院が必要に応じて支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医師、利用者・家族と段階的に相談しながら連携して取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人内の接遇に関するマナー研修でプライバシー保護や個人情報の扱いについて職員の共通認識が持たれるよう取り組み実践されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、散歩や買い物、昼寝や入浴、調理や食事の準備・後片付け、家事の手伝いや畑作業など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に調理や食事の準備をしたり、食材の買出しに行ったりしている。また、お寿司や天ぷらなどの出張サービスの利用や外食など本人の希望に沿った支援をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに応じて、週2~3回を目安に支援している。また、希望に応じて1階のデイサービスの大浴場を利用している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や洗濯物干し、食材の買出し、カラオケや小物作り、押し花などの趣味への支援や散歩や買い物、花見や白鳥見物、幼稚園のお遊戯会参加など戸外に出かけられる機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩や冬祭り見物、白鳥やラベンダー見学など毎月一度は戸外に出かけられるように職員が計画を立案し、支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ、虐待防止委員会で職員の共通認識を持つ取り組みをしている。また、居室や玄関は、日中鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理者が配置され、火災避難訓練や救急救命訓練が定期的実施されている。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけていくことを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分チェック表に記録し、摂取量を把握している。また、栄養バランスやカロリーはおおよそ把握され、医師からの助言も得ている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、採光が差し込み明るくベランダからは周囲の景色が一望できて季節感が味わえる。敷地は広く、職員や来訪者の駐車スペースもゆとりとられていたり、畑もつくられ野菜などの収穫が利用者の楽しみごととなっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族の写真や手作りの小物などが飾られていたり、入り口には職員と一緒に作った手作りの作品が飾られている。また、家族も宿泊していけるように支援されている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。